

## 2.5.2. 対局ゲーム(組合せゲーム)必勝法

- 2人が交互に手をうつゲーム(引き分けなし)を想定
- 先攻の必勝法の有無を調べたい
- 必勝法があれば、最短のそれを求めたい (最長で何手かかるかの最小化)

状態(空間) その時点におけるゲームの途中状況を表す何らかの要素(の集

決定(空間) プレーヤーの打つ手を表現する何らかの要素(の集合)。一般 には、状況に応じて打てる手は限られるので、決定制約 U(x) で

非決定性推移 先手の場合、各状態に対しある決定をとった後、相手が打つ手に よって生じるすべての状態の集合。



コスト関数 1

終端コスト関数 負け状態に対しL (十分大きな数)、勝ち状態に対し0

終了集合 負け状態と勝ち状態

目的関数 各期で以降のコストの最大値をとり前の期のコストと和をとる

Minimize 最小値 ≦ L ... 必勝法有 最適政策: 最短必勝法



## 2.5.2.1. 石取りゲーム

石取りゲームとは・・・

場に積まれた石をルールに従いながら交互に取り合い、 最後の1つを取った方が負けとなるゲーム。

石の数 5個 → 4個 → 1個 → O個 1つ取る 3つ取る 1つ取る 後攻の勝ち

- ■一度に取れる石は1~3個
- ■パスはできない。



## 定式化

ゲーム開始時の石の数をMとする。

状態:自分(先攻)の順番の際に、場に残っている石の数

状態空間 :  $X = \{0, 1, ..., M\}$ 初期状態:  $x_0 = M$ 終了集合:  $X_G = \{0, 1\}$ 

決定:自分(先攻)が取る石の数

決定空間 :  $U = \{1, 2, 3\}$ (自ら負ける手はとらないものとする)

決定制約:  $U(x) = \{u \in U \mid u < x\} \ (x \notin Z)$ 



非決定性推移:

$$\begin{array}{lcl} T(x,u) & = & \left\{ \begin{array}{ll} \left\{ h(h(x,u),u')|u' \in U(h(x,u)) \right\} & (U(h(x,u)) \neq \phi) \\ \{0\} & (U(h(x,u)) = \phi) \end{array} \right. \end{array}$$

ただし

$$h(x,u) = x - u, \quad x \in X, \ u \in U(x)$$

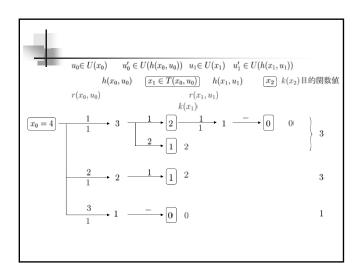
コスト,終端コスト:

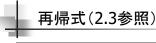
$$r(x,u) = 1 \quad (x \notin Z)$$
  
$$k(x) = \begin{cases} L \quad (x = 1) \\ 0 \quad (x = 0) \end{cases}$$

ただし

$$L = \left[\frac{M}{2}\right]$$

と定める。([x] はx をこえない最大の整数)



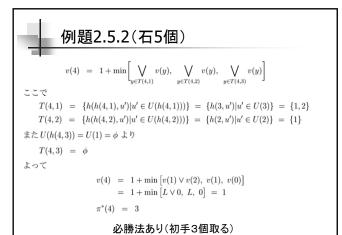


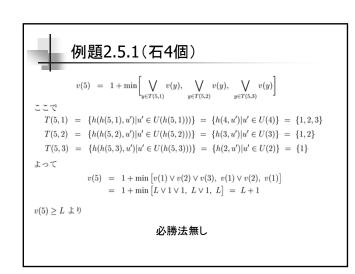
v(0) = 0

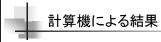
再帰式 
$$v(x) = k(x) \quad x \in X_G$$
 
$$v(x) = \min_{u \in U(x)} \left[ r(x,u) + \bigvee_{y \in T(x,u)} v(y) \right] \quad x \in X \setminus X_G$$

$$\begin{cases} v(1) &= L \\ v(x) &= 1 + \min_{u \in U(x)} \left[ \bigvee_{y \in T(x,u)} v(y) \right] & x = 2, 3, \dots \end{cases}$$

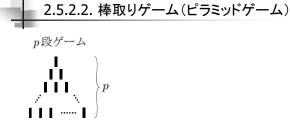
再帰式をさらに書き下すと 
$$\begin{cases} v(0) &= 0 \\ v(1) &= L \end{cases}$$
 
$$v(x) &= 1 + \min_{u \in U(x)} \left[ \bigvee_{y \in T(x,u)} v(y) \right] \quad x = 2, 3, \cdots$$
 
$$\begin{cases} v(0) &= 0 \\ v(1) &= L \\ v(2) &= 1 \\ v(3) &= 1 \end{cases}$$
 
$$v(x) &= 1 + \min_{u \in U(x)} \left[ \bigvee_{y \in T(x,1)} v(y), \bigvee_{y \in T(x,2)} v(y), \bigvee_{y \in T(x,3)} v(y) \right] \quad x = 4, 5, \cdots$$



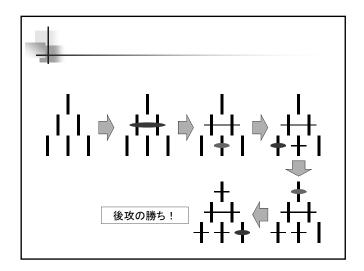


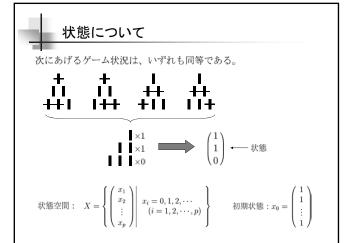


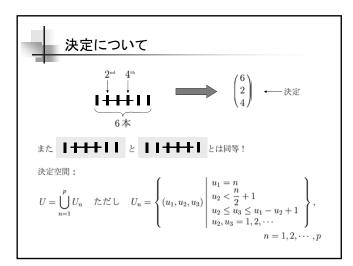
- ・石の数4個 → 必勝法あり(初手3個取る)
- ・石の数5個 → 必勝法無し
- ・石の数6個 → 必勝法あり(初手1個取る)
- ・石の数7個 → 必勝法あり(初手2個取る)
- ・石の数8個 → 必勝法あり(初手3個取る)
- ・石の数9個 → 必勝法無し

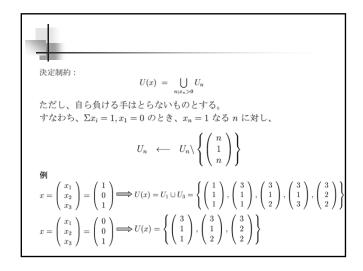


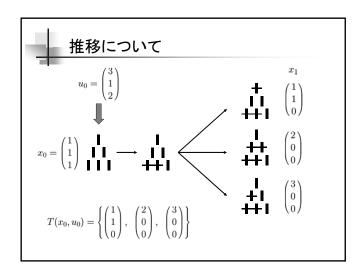
- 自分の順番では、必ず1本以上の棒を消さなければならない。
- 複数の棒を消す場合、それらは隣り合う棒でなければならない。

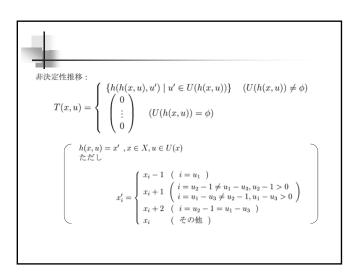












終了集合: 
$$X_G = \left\{ \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ \vdots \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ \vdots \\ 0 \end{pmatrix} \right\}$$

$$r(x,u) = 1 \quad x \in X \setminus X_G$$

$$k(x) = \begin{cases} 0 & x = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ \vdots \\ 0 \end{pmatrix} \\ L & x = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ \vdots \\ 0 \end{pmatrix} \end{cases}$$
ただし  $L = \left[ \frac{1+2+\cdots+p}{2} \right]$ 

